TOKYO GAS 共通お問い合わせ先

0570-002211 ※弊社お客さまセンターへ転送されます。

●日立、甲府、群馬、熊谷、宇都宮の各エリアのお客さま、および PHS 等共通お問い合わせ先をご利用できない場合は、下記へお問い合わせください。

ガスご使用場所	お問い合わせ先
千代田・中央・大田・品川・港区	03(5722)0111
渋谷・目黒・新宿・中野区	03(5722)3111
江東・墨田・台東・文京・荒川区	03(3842)0111
葛飾・足立・江戸川区，草加・八潮・三郷市	03(3603)0361
竜ヶ崎・牛久・つくば・取手市，利根・阿見町	0297(62)8111
千葉・四街道・八街・印西・八千代・佐倉・白井市，印旛・本埜村	043(242)6121
木更津・君津・袖ヶ浦・富津市	0438(23)1245
世田谷区，調布・狛江市	03(3426)1111
杉並区	03(3396)1111
武蔵野・三鷹市	0422(54)0111
東久留米・西東京・清瀬市	042(463)0111
立川・東村山・小平・国立・多摩・稲城・日野・国分寺・小金井・府中・東大和・所沢市	042(524)2111
八王子市	042(645)0511
練馬・豊島・北・板橋区，朝霞・和光・新座市	03(5394)7700
さいたま・川口・戸田・鳩ヶ谷・蕨・上尾・蓮田・久喜市，伊奈・菖蒲・白岡町	048(651)1131
横浜市	045(948)1100
川崎市	044(245)2211
逗子・鎌倉・藤沢市，葉山町	0466(26)0111
横須賀・三浦市	046(823)1570
町田・大和・相模原・座間・海老名・綾瀬市，城山町	042(742)6721
茅ヶ崎・平塚・南足柄市，寒川・大磯・中井・開成町	0463(22)2616
日立市	0294(22)4131
甲府・中央市，昭和町	055(253)1341
高崎・前橋・藤岡市，榛名町	027(322)2523
熊谷・行田・鴻巣・深谷市	048(522)5171
宇都宮・真岡市，上三川・芳賀・高根沢町	028(634)1911

●インターネットでのお問い合わせ・カタログのご請求等は、下記でお願いいたします。
「ご家庭のお客さま向けホームページ」　http://home.tokyo-gas.co.jp

■ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、上記のお問い合わせ先、または販売店にお願いします。

販売店名

製造者　新コスモス電機株式会社
〒105-0013　東京支社/東京都港区浜松町2-6-2
〒532-0036　本　　社/大阪市淀川区三津屋中2-5-4

■所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います　（平成18年12月現在）

W103GKTT　0701(04)6.5K

空気より軽い12Ａ、13Ａガス用

お客さま用

㈶日本ガス機器検査協会検査合格品
日本消防検定協会鑑定合格品

形式名　**XW-103GK**

SC-K712C-N型

（家庭用・業務用兼用）

都市ガス警報器
住宅用火災・ガス漏れ複合型警報器
（不完全燃焼警報機能付）

取扱説明書

●住宅用火災・ガス漏れ複合型警報器（不完全燃焼警報機能付）をお取付けいただきありがとうございます。

●この取扱説明書は住宅用火災・ガス漏れ複合型警報器（不完全燃焼警報機能付）の取扱い方法を説明します。

●お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容を理解した上で取扱ってください。

●本取扱説明書は、取付け後も保証書とともにお手元に保管し、いつでも使用できるようにしておいてください。

●本書を紛失された場合は、販売店または最寄りの東京ガスにお問合せください。

●この警報器は、都市ガスやCO（一酸化炭素）を感知して警報を発するものです。ガス検知部に都市ガスや一酸化炭素が到達しない場合は、ガス漏れ警報機能や不完全燃焼警報機能が働きません。また、ガス漏れや不完全燃焼の発生を未然に防止する装置ではなく、ガス漏れや不完全燃焼による損害を防止することを保障するものではありません。ガス漏れや不完全燃焼などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

●この警報器は炎等の熱を感知して警報を発するものです。換気扇等により熱気が吸引され、熱感知センサ部の温度が上昇しない場合は、火災警報機能が働きません。また、火災の発生を未然に防止する装置ではなく、火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。 R100

も く じ

■ 1．警報器をご使用になる皆様へ

警報器を安全に正しくお使いいただき、また、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示を用いています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

■誤った設置や取扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

表示	意味
⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

■お守りいただきたい事項の種類を以下の絵表示で示しています。

絵表示	意味
	「一般的な禁止」事項を示しています。
	「火気厳禁」事項を示しています。
	「接触禁止」事項を示しています。
	「分解禁止」事項を示しています。
	「必ず行う」事項を示しています。

2．対象ガス

⚠ 注意

●この警報器は都市ガス（空気より軽い12Ａ・13Ａガス）及び一酸化炭素（燃焼排気ガス中のＣＯ）専用の警報器です。
●都市ガス（空気より軽い12Ａ・13Ａガス）供給区域外ではお使いにならないでください。

3．各部の名称と働き

①電源ランプ（緑）
●電源を入れてから約30秒間、緑ランプが点滅します。
（警報器の安定時間）
●通常は緑ランプが点灯しています。

②ガスもれ警報ランプ（赤）
●都市ガスを検知すると赤ランプが点滅します。（１段目の注意報）
●都市ガスが規定濃度以上になると、赤ランプが点灯します。（２段目の警報）

③不完全燃焼警報ランプ（黄）
●不完全燃焼ガスを検知すると、黄ランプが点滅します。（低濃度の注意報）
●不完全燃焼ガスが規定濃度以上になると黄ランプが点灯します。
（高濃度の警報）

④火災警報ランプ（赤）
●火災による熱を感知すると、赤ランプが点灯します。

⑤警報スピーカ（音声合成音）
●購入時は音声設定となっています。
（ブザー設定を要望される場合は東京ガス販売員に申しでてください。）

●都市ガスのガスもれ警報時には（ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか）が鳴ります。
※切替スイッチにより、ブザー設定した場合（ウーウーピッピッピッピッ）のみの警報が鳴ります。
●不完全燃焼警報時には（ウーウーピッポッピッポッ　空気がよごれて危険です　窓を開けて換気してください）が鳴ります。
※切替スイッチにより、ブザー設定した場合（ウーウーピッポッピッポッ）のみの警報が鳴ります。
●火災警報時には（ウーウーカンカンカン　火災警報器が作動しました確認してください）が鳴ります。
※切替スイッチにより、ブザー設定した場合（ウーウーカンカンカン）のみの警報が鳴ります。
●火災警報と不完全燃焼の複合警報時には（ウーウーカンカンカン　火事です 火事です）が鳴ります。
※切替スイッチにより、ブザー設定した場合（ウーウーカンカンカン）のみの警報が鳴ります。

⑥警報音声確認ボタン
●ボタンを押すことで、音声確認機能などいろいろな機能を確認することができます。詳しくは、Ｐ28～29をお読みください。

⑦ガス検知部（都市ガス、不完全燃焼ガス）

⑧火災検知部（熱感知）

⑨電源プラグ
●予備コンセントは最大1490Ｗまでの電気器具を使用できます。

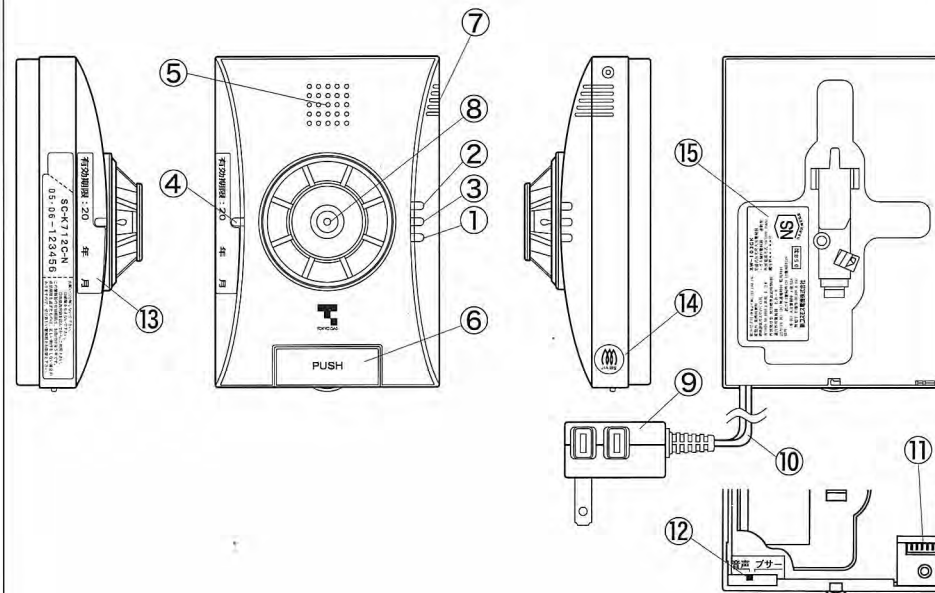
⑩電源コード
●長さ2.5ｍ（約2.2ｍはケース背面に巻取可能）

⑪外部出力コネクタ

⑫音声・ブザー切替スイッチ
●警報音を音声またはブザーに設定できます。

⑬有効期限表示ラベル

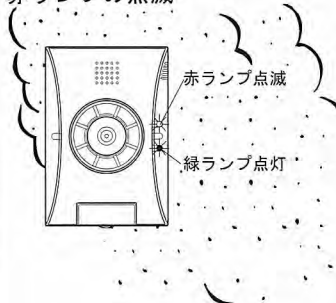
⑭検査合格証

⑮鑑定合格証票

■ 4．主な特長

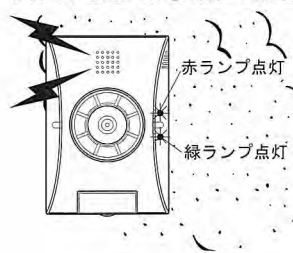
■ガスもれ・不完全燃焼警報機能

●都市ガスがもれた場合

警報器周囲の都市ガス濃度が規定濃度以上になると、右のように2段階に分けて作動します。

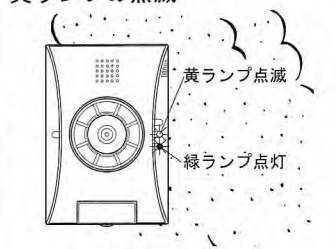
1段目（注意報）

赤ランプの点滅

2段目（警報）

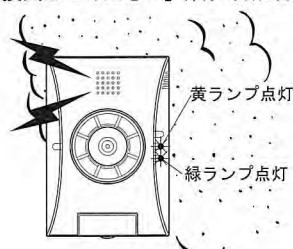
赤ランプ点灯とガスもれ警報音
「ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」（音声合成音）

●ガス機器の不完全燃焼が発生した場合

警報器周囲の一酸化炭素（CO）濃度が規定濃度以上になると、右のように2段階に分けて作動します。

低濃度（注意報）

黄ランプの点滅

一酸化炭素濃度が低濃度の場合でも約5分間継続して検知した時は黄ランプは点滅のままで、高濃度の警報音が鳴ります。

高濃度（警報）

黄ランプ点灯と不完全燃焼警報音
「ウーウーピッポッピッポッ　空気がよごれて危険です　窓を開けて換気してください」（音声合成音）

●都市ガスがもれて同時にガス機器の不完全燃焼が発生した場合

赤ランプおよび黄ランプ点灯と交互に警報音声
「ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」
「ウーウーピッポッピッポッ　空気がよごれて危険です　窓を開けて換気してください」
（音声合成音）

■ガスもれ・不完全燃焼警報連動機器との接続

●住宅情報盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、専用品（別売品）をご使用ください。

●戸外ブザーや集中監視盤などを接続して、離れた場所に警報することもできます。ただし、戸外ブザーは専用品（別売品）をご使用ください。

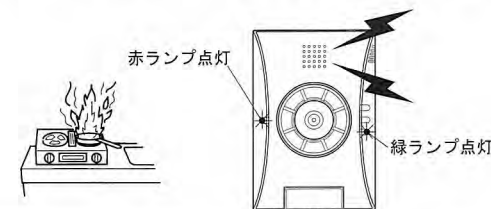
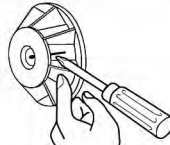
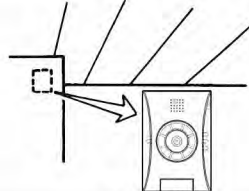
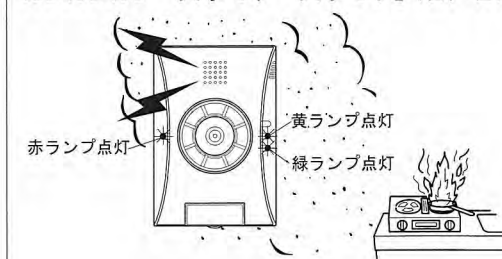
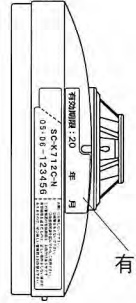
●マイコンメーターに接続しますと、警報を発した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。ただし別売りの部品（警報器アダプター）が必要になります。

●無線連動システムでは警報を発すると送信機が電波を発信し、受信機が受信して自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。

■火災警報機能

●火災による熱が発生した場合

警報器周囲の温度が約65℃以上になると、右のように作動します。

赤ランプ点灯と火災警報音「ウーウーカンカンカン　火災警報器が作動しました　確認してください」（音声合成音）

●火災による熱と同時に不完全燃焼ガスが発生した場合

赤ランプおよび黄ランプ点灯と警報音声「ウーウーカンカンカン　火事です　火事です」（音声合成音）

●離れた場所に設置された住宅用火災警報器と接続して、相互連動させることもできます。

●マイコンメーターに接続しますと、警報を発した時、自動的にマイコンメーターが作動してガスを止めます。ただし別売りの部品（警報器アダプター）が必要になります。

■ 5．ご使用上の注意

⚠ 警告

●警報器は絶対に分解改造しないでください。また、警報器を落下させたり衝撃を与えるような取扱いはしないでください。（故障の原因となります。）	
●火災検知部のガードの中にある熱感知センサにはさわらないでください。（火災を検知しなくなる恐れがあります。）	
●警報器の電源プラグは常に通電している専用コンセントに接続し、電源プラグを抜かないでください。（通電していないと火災が発生していても、またガスもれ、不完全燃焼していても警報音声を発しません。）	
●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。（ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。）	
●電源コードにはステップルや釘等を打たないでください。（火災の原因になります。）	禁止

⚠ 注意

●警報器は取付け位置を移動させないでください。また、警報器の前に物を置いたり取付けたりしないでください。（警報の遅れの原因となります。）警報器の位置を変える必要が生じた場合は、最寄りの東京ガスに依頼してください。	
●ぬれた手でプラグおよび予備コンセント部分にさわらないでください。（感電する恐れがあります。）	ぬれた手でさわらない

⚠ 注意

●日常、電源ランプ（緑）が点灯していることをお確かめください。 電源ランプ（緑）が消灯している場合は下の表をご確認ください。 ●警報器の有効期限を過ぎていないか、確認してください。警報器本体に有効期限の表示ラベルが貼ってあります。有効期限は、取付け後５年間です。 期限を過ぎたものは規定の警報ガス濃度で警報を発しないなど誤作動の恐れがあります。 ●電源ランプ（緑）が高速点滅している場合は、警報器の故障をお知らせしています。 警報音声確認ボタンを押すと「故障などが発生しています。販売店に連絡してください。」が鳴ります。 ●電源ランプ（緑）がゆっくり点滅している場合は、警報器の有効期限切れをお知らせしています。 警報音声確認ボタンを押すと「取付け後、５年経過しています。」が鳴ります。 詳しくはＰ 28～29をお読みください。	確かめる

電源ランプ（緑）が消灯している場合の原因と処置

原　　因	処　　置
・電源コードのプラグのはずれ	・電源プラグを差し込む
・停電	
・電源ブレーカーが切れている	・ブレーカーを入れる
・警報器の故障	・販売店に連絡する

⚠ 注意

●この警報器は、お取付けいただいた場所近くでのガスもれや一酸化炭素（CO）には警報を発してお知らせしますが､他の部屋などで発生したガスもれや一酸化炭素（CO）では警報を発しないことがあります。

●この警報器は熱を感知して警報を発するものです。火災の防止装置ではありません。

●警報器を取付けていない部屋は、火災の監視はできません。

●浴室、屋外では使用できません。

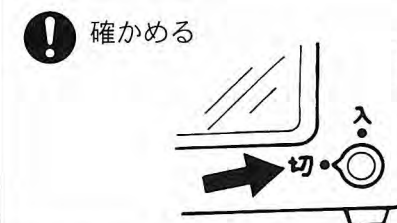
●警報器の近くでラジオ等を使用されると、ラジオ等にノイズ（雑音）が増える場合があります。その様な場合は、警報器からすこし距離を離してご使用ください。

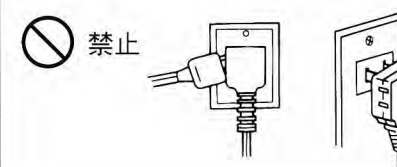
※停電時は作動しません。また、はじめてお使いの場合や、停電後は電源を通じてから約30秒間は作動しません。
なお、約30秒後に赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると赤ランプが消灯します。
※殺虫剤、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると、警報音が鳴る場合がありますが、しばらくすると鳴りやみます。
※警報器は多少温かくなりますが、異常ではありません。（通電によりセンサ部を加熱して使用するため。）
※業務用等で使用される大鍋で湯をわかす際、点火初期時にCOが発生し、CO警報を発する場合がありますので、換気扇を回して使用してください。
※調理や、空調の熱により警報音が鳴る場合があります。

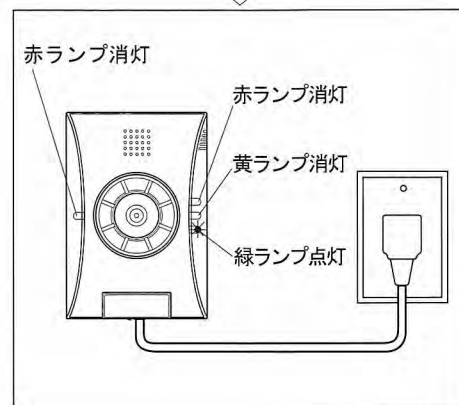
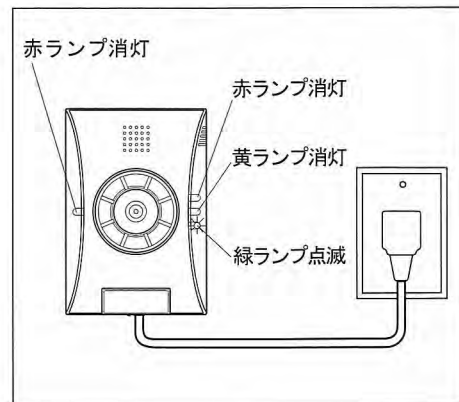
■ 6．予備コンセントの使用方法

⚠ 注意

●警報器以外の電気製品を同時にご使用になる場合は、警報器のプラグは抜かずに、警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）をご利用ください。
ただし、接続できる電気製品は1490W以下です。1490Wを超えると火災発生の恐れがあります。

●警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）を使用するときは、接続する電気製品の電源スイッチを必ず「切（OFF）」にしてください。

●警報器のプラグ、他の電気製品のプラグは確実に接続してください。プラグがコンセントに確実に接続されていないと、プラグ部分が過熱し、焼損する場合があります。

禁止

●警報器のプラグに付属している予備コンセント（アドオンプラグ）に接続するときは、警報器のプラグに大きな力がかからないようにしてください。プラグ部分が外力により破損する場合があります。（例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください。）

■ 7．使用方法

①警報器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。

警報器の動作
緑ランプが点滅します。
警報器が作動状態に入る準備タイムです。（火災警報は作動します。）

②約30秒間お待ちください。

赤ランプ消灯
赤ランプ消灯
黄ランプ消灯
緑ランプ点灯

警報器の動作
約30秒間は緑ランプが点滅しています。この間にガスがかかっても本体は作動しません。（停電復帰時も同様です。）
⇩
約30秒後に緑ランプが点灯し、監視状態に入ります。
緑ランプの点滅が止まらない場合は、警報器の故障が考えられます。

（赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると消灯します。）

■ 8．「ウーウーカンカンカン火事です　火事です」と火災警報を発している場合の処置（火災警報ランプ〔赤ランプ〕と黄ランプの同時点灯）

※火災警報ランプ（赤ランプ）とガスもれ警報ランプ（赤ランプ）と不完全燃焼警報ランプ（黄ランプ）の同時点灯の場合も「ウーウーカンカンカン火事です　火事です」と火災警報を発しますので上記の処置をしてください。

※他の火災警報器と相互連動している場合はP30をご参照ください。

■ 9.「ウーウーカンカンカンカン火災警報器が作動しました確認してください」と火災警報を発している場合の処置（火災警報ランプ〔赤ランプ〕点灯）

※他の火災警報器と相互連動している場合はP30をご参照ください。
※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガスもれ及び不完全燃焼警報は発しません。
※警報器周囲の温度が規定温度以下になった場合、警報音が鳴りやみ赤ランプが消灯します。

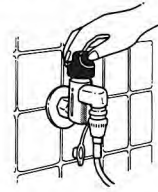
■火災以外の熱で警報器が作動した場合の注意

●火災以外の熱などで火災警報を発している場合は、ガスもれ警報ランプ（赤ランプ）の点灯、点滅の有無を確認してください。	確認する
●ガスもれ警報ランプ（赤ランプ）が点灯又は点滅している場合は、P14、P15の処置を行ってください。	処置する

■ 10. ガスもれ警報ランプ〔赤ランプ〕または黄ランプが点滅している場合の処置

■ガスもれ警報ランプ（赤ランプ）または、不完全燃焼警報ランプ（黄ランプ）が点滅している場合の処置

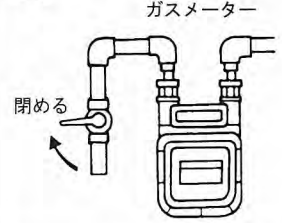
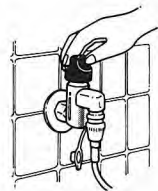
●漏れた都市ガス濃度がうすい場合、ガスもれ警報ランプ［赤ランプ］が点滅します。（1段目の注意報）
●一酸化炭素（CO）濃度が低い場合、黄ランプが点滅します。（低濃度の注意報）

室内の空気がよごれた場合にも、赤または黄のランプが点滅する場合があります。
（「火災、ガスもれ、不完全燃焼（CO）以外でもランプが点滅したり、警報が鳴る場合」をご参照ください。P20）

※外部機器と連動している場合
　外部機器は作動しません。
　（警報音を発していない場合）

■11.「ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」とガスもれ警報を発している場合の処置（ガスもれ警報ランプ〔赤ランプ〕点灯）

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠ 危険　火花などによる爆発の恐れがあります。
警報音が鳴っている間は、次のことは絶対にしないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。	換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり切ったりしないでください。	警報器のプラグをコンセントから抜かないでください。
火気禁止	禁止 換気扇のスイッチ等	禁止 コンセント 抜かない

●次の処置をしてください。

1．ドアや窓を開けて換気してください。

開ける

2．元栓、器具栓を閉めてください。

閉める

3．警報音が鳴りやまなければ最寄りの東京ガスへご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。（有償）

4．ガスがなくなれば、警報音は自動的に止まりますので、止まってからガスもれの原因を点検してください。
ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス器具の立ち消えなどが考えられます。

調べる

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠ 危険　火花などによる爆発の恐れがあります。

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアを開ける、メーター元栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、元栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

すぐの入室禁止

●次の処置をしてください。

1．部屋に入らず、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気をしてください。

外から開ける

2．ガスメーター近くのメーター元栓を閉めてください。

閉める

3．警報音が鳴りやんでから部屋に入り、元栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

閉める

※外部機器と連動している場合は、P26外部機器連動対応表をご参照ください。

■もれたガスがなくなった場合

●ガスがなくなると、警報音が鳴りやみ、赤のランプが消灯します。

■12.「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と不完全燃焼警報を発している場合の処置(黄ランプ点滅または点灯)

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠ 危険

●警報音が鳴り始めたらすぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

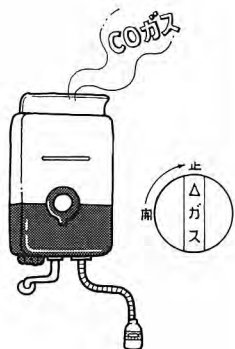
●換気をせずにガス機器を使用しつづけると、一酸化炭素(CO)濃度が上昇し短時間で生命に危険な状態になる恐れがあります。

●次の処置をしてください。

1. ドアや窓を開けて換気してください。

❗ 開ける

2. ガス機器の使用を止めてください。

❗ 止める

3. 警報音が鳴りやまなければ最寄りの東京ガスへご連絡ください。

❗ 連絡する

●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
●ガス機器以外の燃焼機器が原因で鳴る場合もありますので、これらの機器も点検を受けてください。

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠ 危険

●一酸化炭素(CO)濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓を開ける、メーター元栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、元栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

🚫 すぐの入室禁止

●次の処置をしてください。

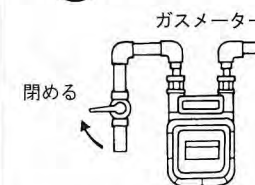
1. 部屋に入らず、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気をしてください。

❗ 外から開ける

2. ガスメーター近くのメーター元栓を閉めてください。

❗ 閉める

3. 警報音が鳴りやんでから部屋に入り、元栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

❗ 閉める

※外部機器と連動している場合は、P26外部機器連動対応表をご参照ください。

■不完全燃焼ガスがなくなった場合

●ガスがなくなると、警報音が鳴りやみ、黄のランプが消灯します。

■13. ガスもれの警報音声と不完全燃焼を知らせる警報音声を交互に発している場合の処置（ガスもれ警報ランプ〔赤ランプ〕と黄ランプの点滅または点灯）

■部屋にいた場合で、警報音が鳴り始めたとき

⚠ 危険　火花などによる爆発または一酸化炭素（CO）中毒を起こす恐れがあります。警報音が鳴っている間は、次のことは絶対にしないでください。

マッチやライターなど火気は使用しないでください。

火気禁止

換気扇、電灯、蛍光灯その他の電気製品のスイッチを入れたり切ったりしないでください。

禁止

警報器のプラグをコンセントから抜かないでください。

禁止

●次の処置をしてください。

1．ドアや窓を開けて換気をしてください。

開ける

2．ガス機器の使用を止めてください。
元栓、器具栓を閉めてください。

閉める

3．警報音が鳴りやまなければ最寄りの東京ガスへご連絡ください。

連絡する

●たびたび警報が鳴る場合は、ガス機器の点検を受けてください。（有償）

4．もれたガスや不完全燃焼ガスがなくなれば、警報音は自動的に止まりますので、止まってから警報が鳴る原因を点検してください。
ガスもれの原因として、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス器具の立ち消えなどが考えられます。

調べる

■部屋にいなかった場合で、室内で警報音が鳴っているのに気づいた場合

⚠ 危険　火花などによる爆発または一酸化炭素（CO）中毒を起こす恐れがあります。

●もれたガスの濃度が濃くなっている場合、または一酸化炭素（CO）濃度が濃くなっている場合が考えられますので、すぐには部屋に入らず、外からドアや窓を開ける、メーター元栓を閉めるなどし、警報音が鳴りやんでから部屋に入り、元栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

すぐの入室禁止

●次の処置をしてください。

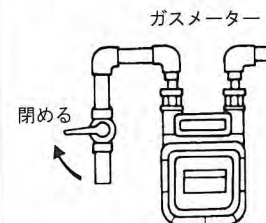
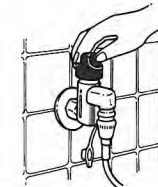
1．部屋に入らず、室外からドアや窓を開けられる場合は、開け放して換気をしてください。

外から開ける

2．ガスメーター近くのメーター元栓を閉めてください。

閉める

3．警報音が鳴りやんでから部屋に入り、元栓、器具栓を閉めるなどの処置をしてください。

閉める

※外部機器と連動している場合は、P26外部機器連動対応表をご参照ください。

■ガスがなくなった場合

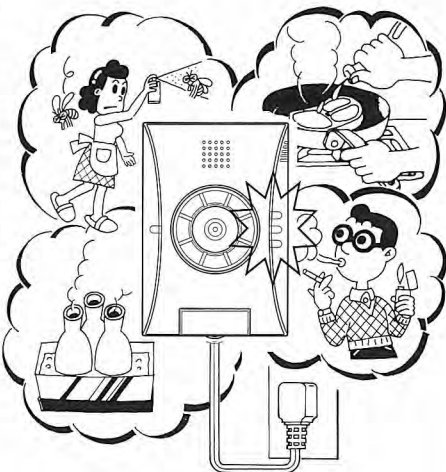
●ガスがなくなると、警報音が鳴りやみ、赤、黄のランプが消灯します。

■ 14. 火災、ガスもれ、不完全燃焼（ＣＯ）以外でもランプが点滅したり警報が鳴る場合

お願い

■火災以外の熱などにより警報音声が鳴ることがありますが、警報器周辺の温度が下がれば鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。
- 調理中の熱がこもった場合。
- エアコン等の空調機器の熱が直接警報器に当たった場合。

■ガスもれや不完全燃焼（ＣＯ）以外でも次のように空気がよごれた場合などにも、赤ランプまたは、黄ランプが点滅する場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。
- スプレー式殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
- 濃厚なタバコの煙を警報器にふきかけた場合。
- 芳香剤等の濃いガスがかかった場合。
- 線香の濃い煙がかかった場合。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合。また、アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になった場合。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用したとき。
- 長時間部屋が閉め切られていた場合。
- 焼き魚の煙等がかかった場合。
- みりんや酢等の調味料成分を含んだ蒸気が大量にかかった場合。
- この他にも、可燃性の成分が作用した場合。
- 警報器の電源電圧が通常の電圧範囲外の場合。通常の電圧範囲はＡＣ100Ｖ±10Ｖです。
- 湯沸器を使用中、換気が十分でなかったとき。
- ガスコンロの着火ミスがあったとき。
- 自動車の排気ガスが室内にこもった場合。
- 炭火や練炭を使用したとき。

- 長い間閉め切られたお部屋に設置されている場合、建材等から発生する成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。

このような場合は、ドアや窓を開けて、しばらく換気を続けると、ランプの点滅は止まります。

ドアや窓を開けて換気してください。

❗ 開ける

■ 15. ランプ表示・音声出力の表現している事象一覧表

ランプ 緑	黄	赤	赤（火災）	音声	表現している事象	対応方法
●	○	○	○	なし	通常動作（監視中）	－
●	○	◎	○	なし	ガスもれ　１段目の注意報	13頁に記載
●	○	●	○	ガスもれ警報音声「ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」	ガスもれ　２段目の警報	14, 15頁に記載
●	◎	○	○	なし	不完全燃焼　低濃度の注意報	13頁に記載
●	◎ または ●	○	○	不完全燃焼警報音声「ウーウーピッポッピッポッ　空気がよごれて危険です　窓を開けて換気してください」	不完全燃焼　高濃度の警報	16, 17頁に記載
●	◎	◎	○	なし	ガスもれ　１段目の注意報と 不完全燃焼　低濃度の注意報	13頁に記載
●	◎	●	○	ガスもれ警報音声「ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」	ガスもれ　２段目の警報と 不完全燃焼　低濃度の注意報	14, 15頁に記載
●	◎ または ●	◎	○	不完全燃焼警報音声「ウーウーピッポッピッポッ　空気がよごれて危険です　窓を開けて換気してください」	不完全燃焼　高濃度の警報と ガスもれ　１段目の注意報	16, 17頁に記載
●	◎ または ●	●	○	ガスもれ警報音声「ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」と、不完全燃焼警報音声「ウーウーピッポッピッポッ　空気がよごれて危険です　窓を開けて換気してください」の交互音声	ガスもれ　２段目の警報と 不完全燃焼　高濃度の警報	18, 19頁に記載
●	○	○	●	火災警報音声「ウーウーカンカンカン　火災警報器が作動しました　確認してください」	火災警報	12頁に記載
●	○	◎	●			
●	○	●	●			
●	◎	○	●			
●	◎	◎	●			
●	◎	●	●			
●	◎ または ●	○	●	火災警報音声「ウーウーカンカンカン　火事です火事です」	火災警報と 不完全燃焼　高濃度の警報	11頁に記載
●	◎ または ●	◎	●			
●	◎ または ●	●	●			

●＝点灯　◎＝点滅　○＝消灯

ランプ				音　　声	表現している事象	対応方法
緑	黄	赤	赤（火災）			
◎	○	○	○	なし	電源投入（停電からの復帰を含む）から30秒 内部電気回路チェック中	
高速点滅	○	○	○	*1「故障などが発生しています。販売店に連絡してください」	故障警報（警報器が故障診断機能により故障と判断した状態）	販売店に連絡してください。
ゆっくり点滅	○	○	○	*1「取付け後、５年経過しています。」	有効期限お知らせ表示	販売店に連絡してください。
○	○	*2 2回点灯	○	なし	ガスもれ警報履歴 （過去にガスもれ警報があったことを表示しています。）	
○	*2 2回点灯	○	○	なし	不完全燃焼警報履歴 （過去に不完全燃焼警報があったことを表示しています。）	
○	○	○	*2 2回点灯	なし	火災警報履歴 （過去に火災警報があったことを表示しています。）	
○	○	○	*2 1回点灯	なし	連動火災警報履歴 （過去に連動火災警報があったことを表示しています。）	

●＝点灯　◎＝点滅　○＝消灯

・警報ランプはそれぞれ独立して点滅または点灯します。
・警報音は火災警報を優先しています。
・火災警報と不完全燃焼警報の複合検知時は、緊急度の高い音声としました。
※故障の際、上記以外の表示音声を発する場合もあります。このような場合は販売店にご連絡ください。

＊1　警報音声確認ボタンを押した場合に音声でお知らせします。
＊2　警報音声確認ボタンを押した場合に、事象に応じてランプが２回または１回点灯します。
（約10日間警報履歴を保持します。）

■16. 警報器を取付けている部屋等で噴霧式殺虫剤を使用される時のお願い

■警報器が噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐのに効果があります。

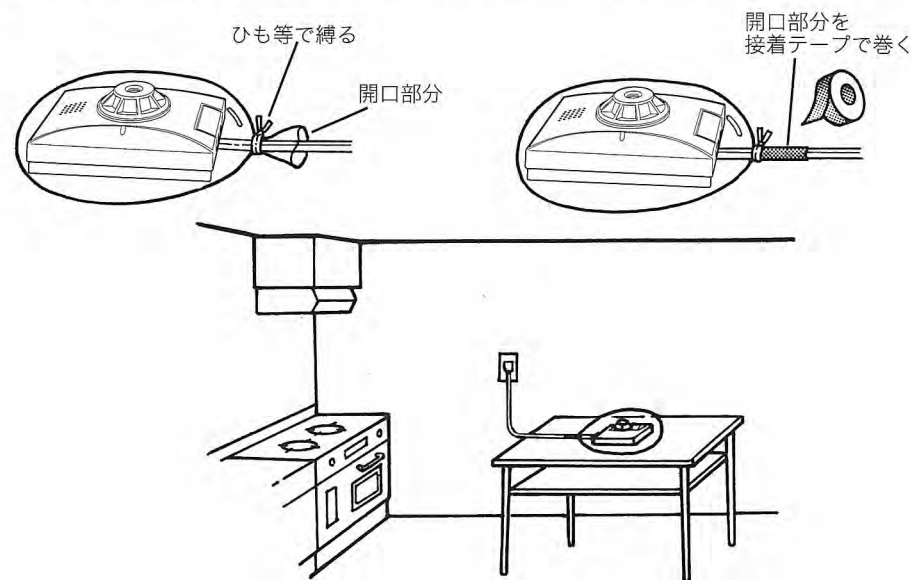
1．コードを巻取部から引き出して伸ばし、安定した所に置ける場合には、下記の手順で処置してください。

用意していただくもの

ポリ袋　・ポリプロピレン（PPマークまたは> PP <表示）が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。

ひも

接着テープ

① 警報器を取外し、コード止めから電源コードを外して伸ばしながら、安定するところに置いてください。（電源プラグは抜かないでください。）
② 警報器にポリ袋１枚をかぶせて、ポリ袋内に噴射ガスが入るのを防ぐため、電源コード部分で密閉できるようにひも等で縛ってください。ポリ袋の開口部分は、電源コードとの間に隙間ができないように接着テープ等を巻いてください。
③ ポリ袋を傷めないように、安定するところに置いてください。

2．1の方法で処置できない場合は、下記の手順で処置してください。

用意していただくもの

ポリ袋　・ポリプロピレン（PPまたは>PP<表示）が好ましいですが、ポリエチレンでも一定の効果があります。

・大きさは、30cm × 40cm 程度が適当です。

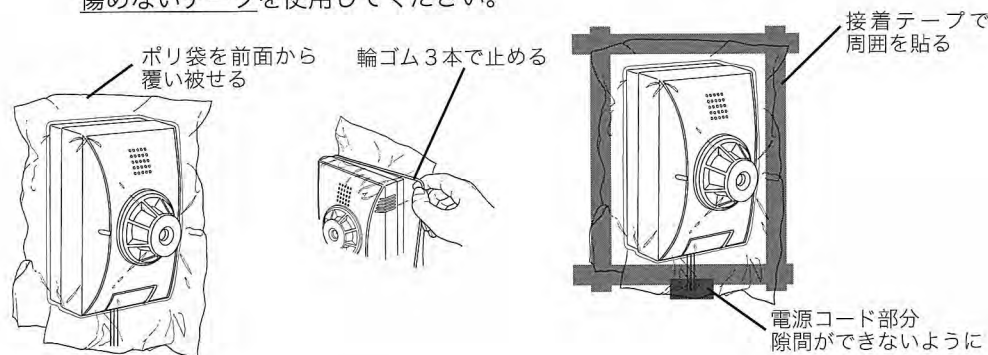
輪ゴム3本

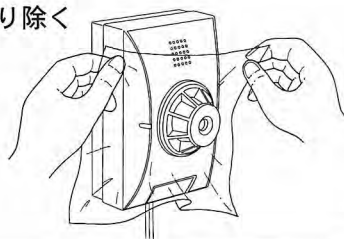
接着テープ　壁面の状況に応じた接着テープ

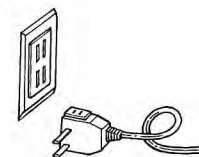
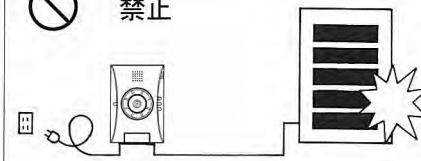
① ポリ袋を輪ゴムで警報器のコード収納カバー部分で止めてください。輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかりと止めてください。

② ポリ袋と壁の隙間から噴射ガスが入るのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで壁面に貼り付けてください。ただし、壁面等の状況により貼り付けできない場合は輪ゴムで止めておくだけでも一定の効果はあります。

・ポリ袋と壁面の間に隙間ができないようにテープで貼ってください。特に、ポリ袋がしわになっている部分や、電源コードが通っている部分を注意してふさいでください。

・接着テープは壁面の状況に応じて、接着しやすく、また剥がすときに壁面等を傷めないテープを使用してください。

⚠ 警告

● 噴霧が終わり、換気した後、忘れずにポリ袋を取り除いてください。	取り除く

⚠ 警告

● 電源プラグは抜かないでください。 ※電源を抜かれて、警報器をポリ袋で覆わずに、噴霧式殺虫剤を使用される部屋に置かれますと、噴霧が終わって電源を入れた時に、警報器内部のフィルタに吸着された噴射ガスが脱離することにより、警報が鳴ることがあります。	禁止
● 警報器の信号が外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜いたりすると、外部機器で警報（故障表示）が鳴る場合があります。	禁止

⚠ 注意

●警報器の壁面からの取外し、取付け、あるいは、壁面の警報器へのポリ袋の取付け、取外しは、高いところの作業になりますので、しっかりした踏み台などをお使いの上、転落、転倒、落下に十分注意して行ってください。	

お願い

・警報器への影響を少なくするため、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。また、警報器の真下での噴霧は避けてください。

・ポリ袋で覆っても次のような場合には警報器が鳴る場合があります。念のため、事前に住宅管理者やご近所の方に殺虫剤使用を、ご連絡しておいてください。

(1) ポリ袋と壁面の間に隙間がある場合。また、ポリ袋に破れや穴がある場合。

(2) 部屋の広さに比べて極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用された場合。

(3) 警報器をポリ袋で覆う前に石油系溶剤、アルコール類などを使用されていた場合。（ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められるため）

(4) 経年変化によりガス検知部が敏感になっている場合。

■外部機器連動対応表

上段　○：連動可能
　　　×：連動不可能
　　　△：警報器アダプターが必要

下段　警報音が鳴り始めてから各機器が作動するまでの遅延時間です。
この遅延時間は連動機器によって異なります。

連動機器 ＼ 外部出力信号 ＼ 警報の種類	警報時の動作	火災 連動出力	ガスもれ DC12V	不完全燃焼 DC18V	備　考
戸外ブザー (SC-B30)	警報音が 鳴ります	×	○	○	ガスもれ、CO 警報用
			約45秒		
マイコンメーター	ガスを 止めます	△	△	△	
			約45秒		
住宅情報盤	警報表示及び警 報音が鳴ります	※1	○	○	
			即時		
無線連動装置 (TK-W40)	ガスを 止めます	×	○	○	
			約60秒		
業務用しゃ断弁	ガスを 止めます	×	○	○	
			約45秒		
集中監視盤	警報表示及び警 報音が鳴ります	※1	○	○	
			※2		

※　上記の外部機器との接続の場合にはケーブルが必要になります。

※1　接続する場合は東京ガスにご相談ください。

※2　機器の設定により、遅延時間が異なります。

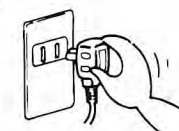
【ご注意】

1. 外部出力は極性がありますので、外部機器と接続される場合はご注意ください。
2. 住宅情報盤及び集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づき行ってください。
3. 連動機器では、ガスもれと不完全燃焼の警報は判別できません。住宅情報盤、業務用しゃ断弁には判別できるものがあります。
4. 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書をご参照ください。
5. 連動機器は専用品をお使いください。(集中監視盤を除く)
6. 外部連動については、東京ガスにご相談ください。

■17. 警報器のお手入れ方法

⚠ 注意

●警報器の表面および取付け部付近の壁面がよごれたりしてお手入れをされる場合は、電源プラグをコンセントから必ず抜き取ってください。(警報器の信号が外部機器〔インターホンなどの集中監視機器〕と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報〔故障表示〕が鳴る場合があります。)

プラグを抜く

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。(ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。)

電源プラグは確実に

お　願　い

●お手入れをされる場合は、布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからよごれを拭き取ってください。

よく絞ってからふく

よく絞る

水または石けん水

●お手入れの時、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。

禁止

●警報器のお手入れには中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーおよびアルコールは使わないでください。
中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらくガスもれ警報ランプ(赤ランプ)が点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

禁止

■警報音声確認ボタンによる機能説明

⚠注意
警報音声確認ボタンを操作してもガスセンサの点検は行いませんので、ガスもれ警報や不完全燃焼警報の作動点検はＰ39～42にならって実施してください。

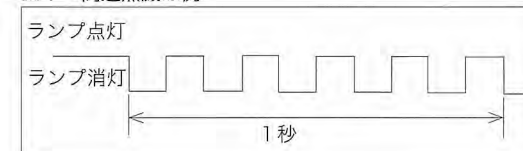
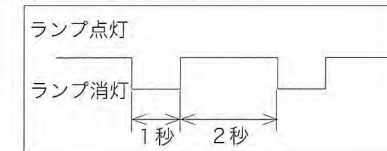
①音声確認機能
警報音声確認ボタンを押すと、警報音とランプ表示の確認を行うことができます。
外部出力信号は出力されません。

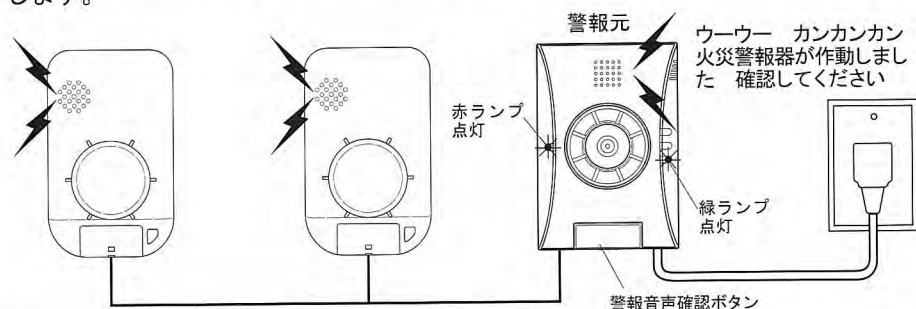
	音声内容	ランプ			
		緑	黄	赤	赤（火災）
1	「ピッ、」と開始音が鳴ります。	点灯			
2	音　声：「ウーウーカンカンカン火事です　火事です」 ブザー：「ウーウーカンカンカン」	点滅	点灯		点灯
3	音　声：「ウーウーカンカンカン　火災警報器が作動しました確認してください。」 ブザー：「ウーウーカンカンカン」	点滅			点灯
4	音　声：「ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」 ブザー：「ウーウーピッ、ピッ、ピッ、ピッ、」	点滅		点灯	
5	音　声：「ウーウーピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください。」 ブザー：「ウーウーピッポッピッポッ」	点滅	点灯		
6	「ピー」と終了音が鳴ります。	点灯			

②外部出力・連動点検機能
外部機器および他の住宅用火災警報器との連動確認を行うことができます。
Ａ：電源投入から約25分以内
警報音声確認ボタンを押すと「ピッ」と鳴り、そのまま３秒間押し続けると、「ピッ、ピッ、」と開始音が鳴ります。同時に外部出力信号（火災警報信号およびガス漏れ・不完全燃焼警報時の有電圧）が１分間出力されます。（有電圧は12Ｖと18Ｖが交互に出力されます。）警報器の動作は上記表と同じ動作を行い、１分後に「ピー」と終了音が鳴ります。
Ｂ：電源投入から約25分以降
警報音声確認ボタンを押すと「ピッ」と鳴り、そのまま３秒間押し続けると、「ピッ、ピッ、」と開始音が鳴ります。同時に外部出力信号の火災警報信号のみ１分間出力されます。警報器の動作は上記表の３のみの動作を行い、１分後に「ピー」と終了音が鳴ります。
※１分以内に点検を終わりたい場合は、上記表の２～５の動作後に警報音声確認ボタンを約２秒長押しすると、「ピー」と鳴り終了します。

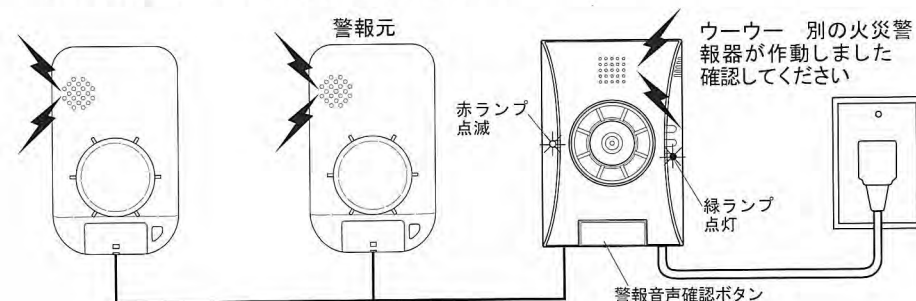
③機器故障音声機能
警報器の機器故障を音声で確認できます。
電源ランプ（緑）が高速点滅（※１）している時に警報音声確認ボタンを押すと、
音　声：「故障など発生しています。販売店に連絡してください。」
④火災警報停止機能（相互連動接続時のみ）
相互連動されている火災警報器からの信号を受けて、火災警報ランプ（赤）が点滅し
音　声：「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」
ブザー：「ウーウー」（スイッチにて切替）
の火災警報を発している時に警報音声確認ボタンを押すと、警報音は停止します。
ただし、警報音声確認ボタンを押した後も、警報元が火災警報状態が継続している場合は５分後に火災警報音声が再び鳴ります。
⑤有効期限切れ音声機能
警報器の期限切れを音声で確認できます。
電源ランプ（緑）がゆっくり点滅（※２）している時に警報音声確認ボタンを押すと、
音　声：「取付け後、５年経過しています。」
※警報器を設置されてから約5.5年経過しますと電源ランプ（緑）がゆっくり点滅します。
⑥鳴動原因表示機能
ガスもれ警報、不完全燃焼警報、火災警報が発生した後、監視状態へ復帰した場合警報音声確認ボタンを押すと、事象に応じてランプが２回または1回点灯し、警報した種類の確認ができます。
２種類以上の警報が交互に警報した後、監視状態へ復帰した場合は、最後に鳴りやんだ方を表示します。
この機能は10日間保持されます。

	ランプ表示
ガスもれ警報後	電源ランプ（緑）消灯、ガスもれ警報ランプ（赤）２回点灯
不完全燃焼警報後	電源ランプ（緑）消灯、不完全燃焼警報ランプ（黄）２回点灯
火災警報後	電源ランプ（緑）消灯、火災警報ランプ（赤）２回点灯
連動火災警報後	電源ランプ（緑）消灯、火災警報ランプ（赤）１回点灯

※１　高速点滅の例

※２　ゆっくり点滅の例

■相互連動機能説明

①本警報器が火災警報を発した場合、連動接続された他の火災警報器も警報音を発します。

②連動接続された他の火災警報器が火災警報を発した場合、本警報器は火災警報ランプ（赤）が点滅し「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」が鳴ります。

ブザー設定：「ウーウー」（スイッチにて切替）

・本警報器の警報音声確認ボタンを押すと、警報音は鳴りやみます。
・警報元の警報音声停止機能のボタンを押された場合も本警報器の警報音は鳴りやみ、火災警報ランプ（赤）は消灯します。

※連動接続された他の火災警報器は機種により連動時の動作は異なります。
必ず、接続される火災警報器の取扱説明書をお読みください。

■18. アフターサービス

お　願　い

●この警報器は、５年間の無償保証です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取替えいたします。ただし、保証書裏面記載の保証の適用除外の項目に該当する場合はこの限りではありません。保証書をご参照ください。
●この警報器の有効期限は、お取付後５年間です。有効期限とは警報器の所定の性能を維持できる期限であり、５年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取替えください。
●保証書に取付け年月および販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。
●保証書は大切に保管してください。
●アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店または、最寄りの東京ガスまでご連絡ください。
●警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店へご連絡ください。
●作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
●お引越しの場合の取扱い

①リース品
リース契約は解約になりますので、警報器は東京ガスまたは指定の販売店が原則としてガスメータ閉栓（ガス料金の最終検針）時に取外させていただきます。

②現金または割賦販売品
お客さまご自身が東京ガス供給エリアの新住所にお持ちいただいた場合は、販売店または最寄りの東京ガスまでご連絡ください。無償で再設置のうえ、新住所での設置先登録をさせていただきます。

警報器の登録について

この警報器はコンピューターに登録させていただきます。

■この警報器の設置情報（取付年月日、お客さま番号、機器名、設置場所等）は、販売店を通じ東京ガスのコンピューターに登録させていただきます。登録済みの警報器には有効期限（取替予定年月）を記入したラベルを貼付していますので、ご確認ください。また有効期限（取替予定年月）の記入のないラベルは未登録の場合がありますので、販売店もしくはお近くの東京ガスにご連絡ください。（ラベルをはがしたりすることはお避けください。）登録された警報器の有効期限到来時に、東京ガスまたは指定の販売店より期限切れをお知らせしますので、ぜひ新しいものとお取替えください。なおお客さまが転居された場合など、期限切れのお知らせができないこともあります。

個人情報保護に関する東京ガスの対応について

■警報器に関するお客さまの個人情報は、上記の有効期限経過のお知らせを行うほか、製品の品質向上のための修理点検記録収集やアフターサービス全般のために使用し、それ以外の目的に使用することはございません。
■東京ガスは上記を実施するために、お客さまの個人情報をエネスタ、エネフィットまたはその他の弊社製警報器取扱企業と共同利用させていただきますが、その場合お客さまの個人情報を安全かつ適切に利用するよう努めます。

■19. 仕 様

	項目	仕様	
火災警報機能	種別	定温式住宅用火災警報器・ガス漏れ警報器	
	鑑定型式番号	鑑住第17～19号	
	検知原理	熱感知サーミスタ式	
	公称作動温度	65℃	
	＊火災連動入出力	相互鳴動用火災連動入出力 有極性 自動復帰式 監視時入力(DC30V以下)警報時出力(DC1.2V以下,100mA)	
ガス漏れ・不完全燃焼警報機能	検知対象ガス	都市ガス (空気より軽い12A・13Aガス用)	不完全燃焼排気ガス中の 一酸化炭素（CO）
	警報ガス濃度	1段目★ 爆発下限界濃度 の約1/100以上	低濃度 一酸化炭素濃度 50～200ppm
		2段目 爆発下限界濃度 の1/4以下	高濃度 一酸化炭素濃度 550ppm以下
	検知方式	熱線型半導体式	熱線型半導体式
	警報方式	1段目 赤ランプ点滅 （自動復帰式）	低濃度 黄ランプ点滅 約5分後危険と判断し、音声合成音 （自動復帰式）
		2段目 赤ランプ点灯 音声合成音 （自動復帰式）	高濃度 黄ランプ点灯 音声合成音 （自動復帰式）
		音声合成音は切替スイッチにより音声とブザーの選択が可能	音声合成音は切替スイッチにより音声とブザーの選択が可能
	応答時間	60秒以内	低濃度 15分以内 高濃度 5分以内
	＊ 外部出力信号	監視時 DC6V 電源OFF及びトラブル時 0V	
		警報時 DC12V	警報時 DC18V
共通仕様	警報音量	80dB(A)/m以上	
	電源	AC100V 50/60Hz	
	消費電力	監視時 約1.2W 警報時 約2.0W	
	使用温度範囲	0℃～＋40℃（結露しないこと）	
	寸法・質量	幅85×高さ125×奥行き47mm(突起部を除く),約280g	
	電源コード	長さ 2.5m（約2.2mはケース背面に巻取可能） 予備コンセント付プラグ （予備コンセントに接続できる電気製品は、1490W以下）	
	付属品	保証書、コード振れ止め×3、取付板×1 木ねじ（φ3.1×10mm）×3、木ねじ（φ3.1×16mm）×2 ピン（φ1×20mm）×10、コード収納カバー	
	ケース材質	PC／ABS樹脂（自己消火性）	

★爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

＊マイコンメーターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。

施工される方及び警報器をご使用になる皆様へ

■施工される方へのお願い

⚠ 警告

1. お客さまにこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。 **必ず行う**
2. 工事終了後に、取扱説明書に従って、作動点検を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。また外部装置と接続される場合は、外部装置の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検を行ってください。 **必ず行う**
3. 工事終了後に取扱説明書に従って、次の事項をお客さまに説明してください。 **必ず行う**

(1)警報器の内容の説明（警報ランプ点灯と音声合成音）
- ①火災警報
- ②ガスもれ警報
- ③不完全燃焼警報
- ④火災と不完全燃焼の同時警報
- ⑤ガスもれと不完全燃焼の同時警報
- ⑥火災とガスもれと不完全燃焼の同時警報
- ⑦警報音声確認ボタンの説明
  - ・機器故障音声機能
  - ・有効期限切れ音声機能

(2)警報時のとるべき措置
- ①火災警報時
- ②ガスもれ警報時（部屋にいなかった場合を含む）
- ③不完全燃焼警報時（部屋にいなかった場合を含む）
- ④火災と不完全燃焼の同時警報時
- ⑤ガスもれと不完全燃焼の同時警報時（部屋にいなかった場合を含む）
- ⑥火災とガスもれと不完全燃焼の同時警報時

■20. 設置前のご注意

●警報器を設置する前に、警報器の種類、型式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客さまとよく相談して決めてください。

■警報器の確認

⚠ 注意

1. 取付ける警報器が空気より軽い12Ａ・13Ａガス用（火災検知・不完全燃焼警報機能付）であり、本体、電源コード等に異常のないことを確認する。 **必ず行う**
2. 警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取扱いには注意すること。

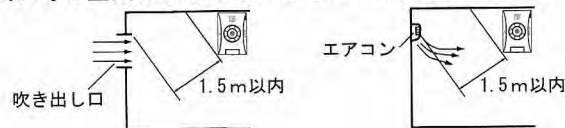
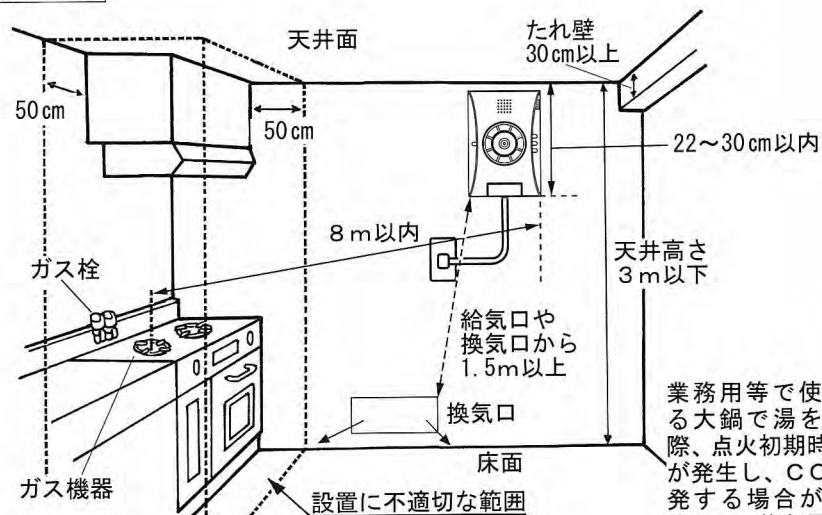
■21. 取付け位置の確認

●取付け位置を決めるときには、次のことをよく確認してください。

⚠ 注意

1．ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置すること。	必ず行う
2．もれたガスや不完全燃焼ガスが滞留しやすい位置で、電源ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けること。	必ず行う
3．ガスもれ、不完全燃焼を検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合は、ガス栓）から水平距離８ｍ以内、天井面から22cm以上～30cm以内とすること。	必ず行う
4．アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取付けないこと。	禁止
5．換気口等の空気の吹き出し口から1.5ｍ以内には取付けないこと。	禁止

取付け例

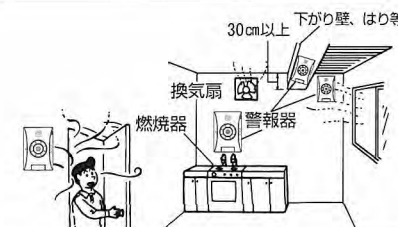
業務用等で使用される大鍋で湯を沸かす際、点火初期時にＣＯが発生し、ＣＯ警報を発する場合がありますので、換気扇を回して使用してください。

※取付けおよび取付け位置の移動はガス会社におまかせください。
床面積は概ね30㎡以下（部屋が正方形なら対角線は約7.7ｍ以下）

⚠ 注意 次のような取付け方をされていますと、警報の遅れや誤報、故障などの原因になることがあります。

●換気扇、給気口、ドア付近など風通しのよいところ、すき間風の入るところ
●30cm以上の下がり壁で区切られているところ
●エアコン等の吹き出し孔の近く

禁止

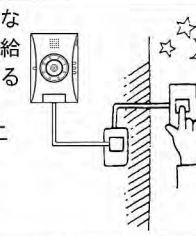
警報が遅れたり検知できないことがあります。

30cm以上 下がり壁、はり等
換気扇
燃焼器
警報器

●燃焼器具などの排気、湯気、油煙など及び調理用アルコール蒸気が直接かかるところ

禁止

センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。

●使用時しか電源を入れないところ（ビルなどの給湯室で、夜間電源を切るところ）

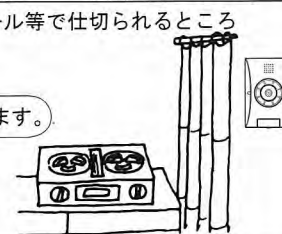
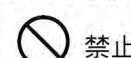
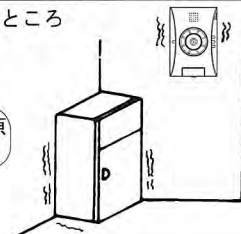
禁止

警報器としての機能を果たしません。

●カーテンウォール等で仕切られるところ

禁止

警報が遅れます。

●振動、衝撃の激しいところ

禁止

センサ故障の原因になります。

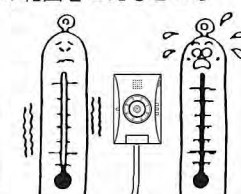
●浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ

禁止

感電や電気的故障の原因になります。

●温度が0℃～＋40℃の範囲をこえるところ

禁止

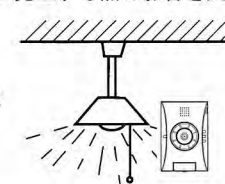
警報器としての機能を果たしません。誤動作の原因になります。

●照明器具等が発生する熱の影響を受けるところ

禁止

●食器棚などの上部

禁止

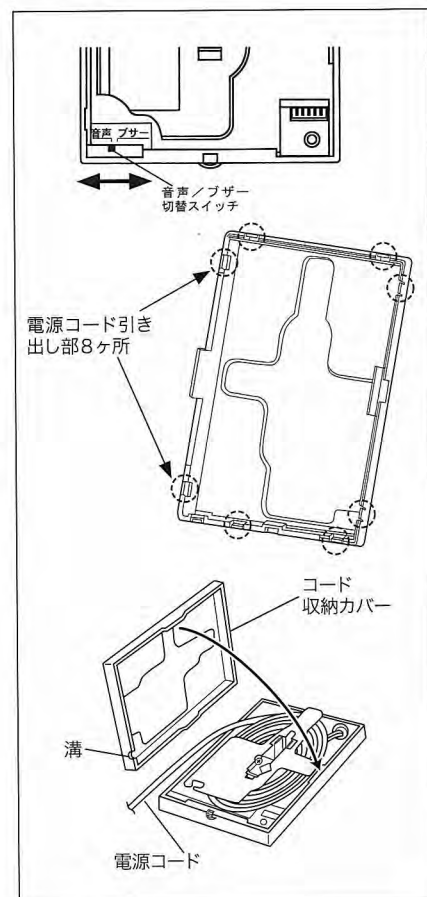
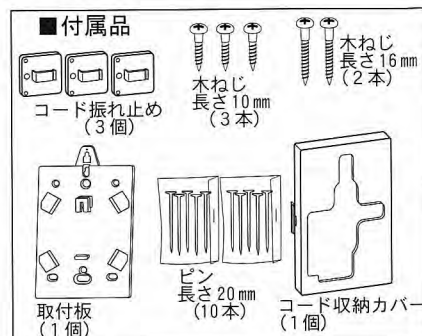
●屋外

禁止

屋外用ではありません。

■22. 取付け方法

1. 付属品セットの確認
   部品イラストや写真、図などを用いて、付属品名、個数、用途などを確認すること。
2. 取付け位置の確認
   (1)取付け位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板には取付けないこと。
   (2)壁がコンクリートの場合は、振動ドリルでドリリングのうえ、カールプラグ（市販品）を打ち込み、木ねじを使用すること。

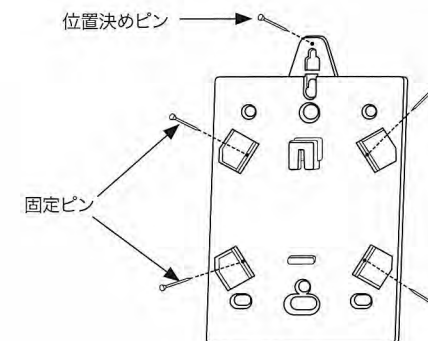
3. 警報音の設定
   警報音は、音声又はブザーの選択ができます。
   警報器裏面のスイッチにより、警報音の選択をしてください。（初期設定は音声になっています。）
   ※警報音を切り替える場合は、警報器の電源を入れない状態で行ってください。

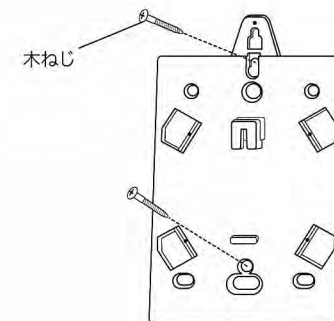
4. コード収納カバーの取付け
   コード収納カバー側面の8ヶ所から電源コードを引き出すのに最適な1ヶ所を選び、リブを取り除きます。
   そこから電源コードを引き出し、コード収納カバーを警報器本体に取付けます。

5. 取付板を壁面に取付け

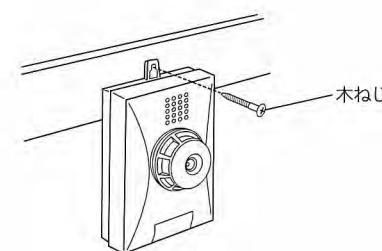
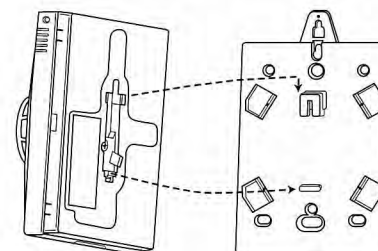
■ピンによる取付け

（壁の材質が石膏ボードなどの場合）

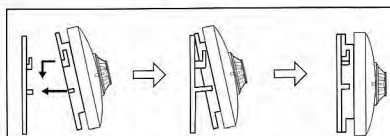
⚠注意
・ピンを指に刺さないよう取扱いには十分注意願います。 ・取付け強度保持のため、ピンは根本まで差し込んでください。 ・万一ピンがゆるんだ場合には、取付け位置を少しずらしてピンを取付け直してください。

●取付け手順
①取付板のフック上段の孔に位置決めピンを通し、壁面に垂直にピンを差し込んで仮止めします。
②取付板に固定用ピンを4ヶ所、壁面に斜め45度に差し込んで取付板を壁面にしっかり固定します。

■木ねじによる取付け

取付板を図のように木ねじ（長さ16㎜）2本で壁面に固定します。

■フックによる取付け

取付板を本体に取り付けて、木ねじ（長さ16㎜）1本で壁面に取付けることもできます。

●既存の取付板に取付ける場合

取付板の上の引っ掛け部を、警報器背面に引っ掛けた後、取付板下の固定凸部に警報器を押し付けるようにして食い込ませ固定します。

警報器が確実に固定されているかどうかを確認する。

上を引っ掛けてから下の突起を押し込む

⚠ 注意

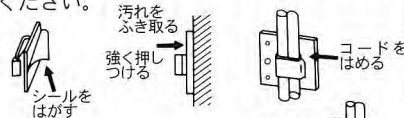
6．配線方法

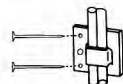
(1)電気設備技術基準および内線規定により電源コードは、ステップルや釘等で固定しないでください。

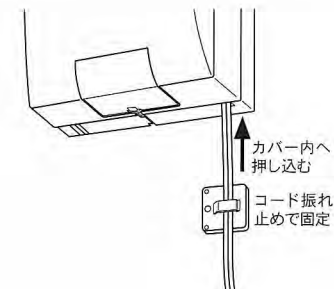
(2)電源コードに重いものを置かないでください。

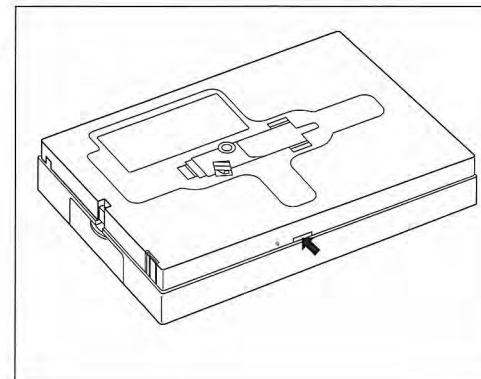
■電気設備技術基準および内線規定により、電源コードはステップルや釘等で固定できません。

お 願 い

(3)電源コードは、付属のコード振れ止めで固定してください。なお、コード振れ止めが接着だけでは付かない場合は、木ねじ（10㎜）で止めてください。石膏ボードに取付ける場合は付属のピンで2ヶ所止めてください。

(4)外部装置との接続方法

外部装置と接続する場合は、外部装置の取扱説明書ならびに設置工事説明書に従って工事を実施してください。

—電源コード長さの微調整—

警報器を取付けた後で、電源コードをカバー内へ押し込むことで、長さを微調整できます。
（押し込める長さは、コードを取り出している量で変わります）

—コード収納カバーのはずし方—

カバー側面の溝を指で押し込みながら引き上げてください。

■23. 作動点検

お 願 い

●ガスもれ警報、不完全燃焼警報点検の場合は、点検ガス採取器（別売品）と、別にテーブルコンロなど炎からガスを採取できるものを用意してください。

従来のアルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガス（生ガス）は使用しないでください。センサ異常または警報状態からの復帰に大変時間がかかる場合があります。

●次の順序で動作を点検してください。

1. ガス警報器の電源プラグをコンセントに差し込みます。電源ランプ(緑)が点滅し、約30秒後に点滅から点灯に変わり、警報器が監視状態に入ります。(約30秒後に赤ランプが点滅する場合がありますが、しばらくすると消灯します。)

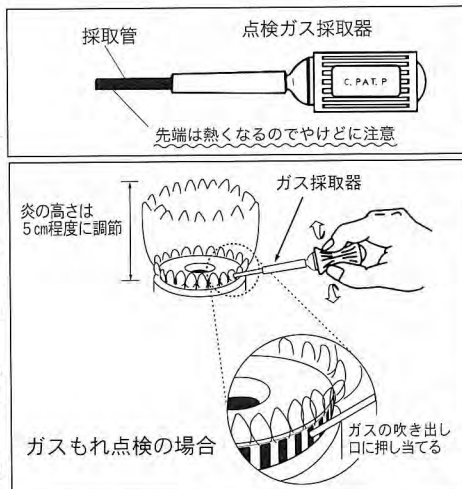
○ガスもれ警報点検の場合

2.

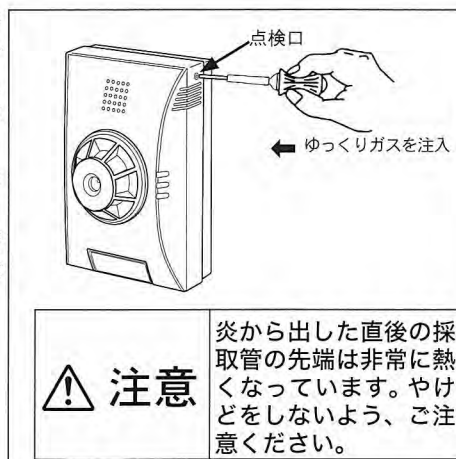
⑴ガスコンロを点火し、炎の高さを５㎝程度に調整します。
(炎が小さいとガスを採取しにくくなります。)

⑵点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端を炎芯部（炎の根本部分）のガス吹き出し口に押し当てます。

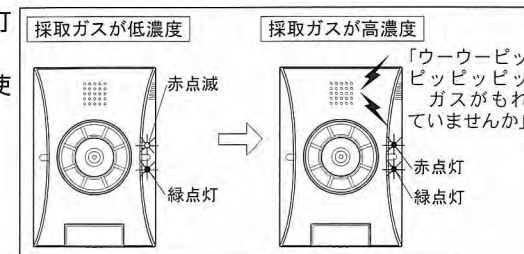
⑶容器の圧縮をゆっくり(約３秒程度)緩め、炎の中からガス成分を吸引します。
(長時間加熱しますと、ガス採取器が破損する場合があります。)
点検ガスの採取が終わりましたら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスコンロの炎を消してください。

⑷採取管の先端部分の温度が下がるまで(約25秒程度)待ちます。

⑸電源投入から約30秒後、緑ランプが点滅から点灯に変わってから、採取管の先端部分を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり(約３秒程度)注入します。

⑹ガス濃度が低ければ赤ランプが点滅します。(１段目の注意報)
ガス濃度が高ければ赤ランプが点灯し、警報音(「ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」)が鳴ります。
(２段目の警報)

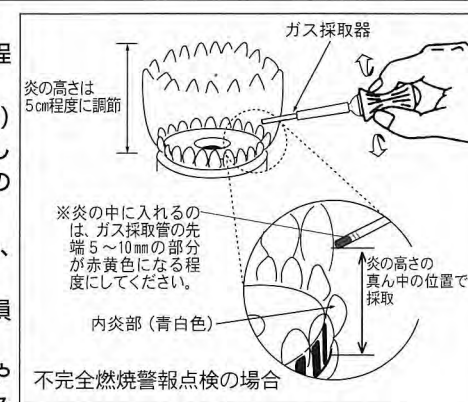
⚠ 注意　炎から出した直後の採取管の先端は非常に熱くなっています。やけどをしないよう、ご注意ください。

3. ガスがなくなると、赤ランプが消灯します。
※採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。

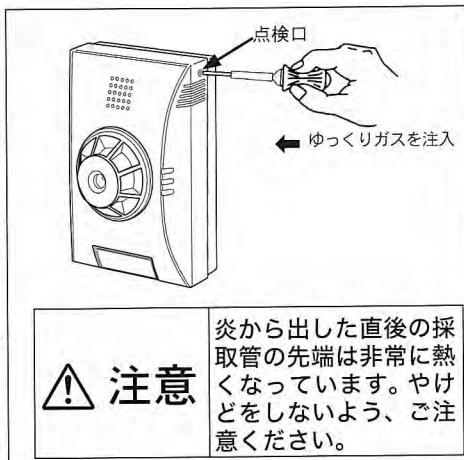
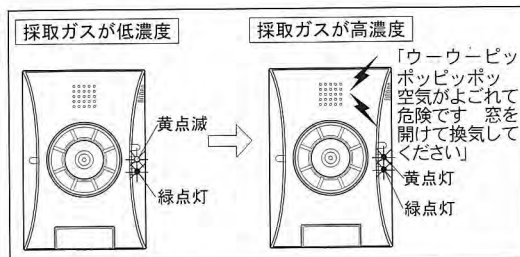
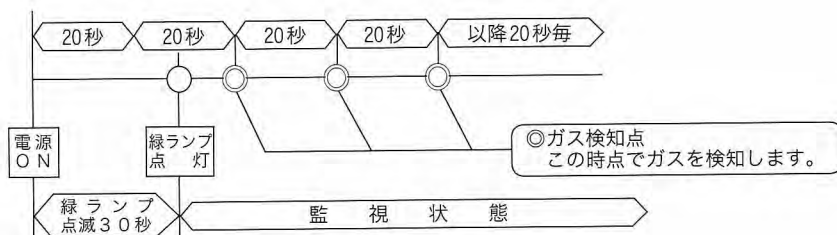
○不完全燃焼警報点検の場合

4.

⑴ガスコンロを点火し、炎の高さを５cm程度に調整します。
(炎が小さいとガスを採取しにくくなります。)

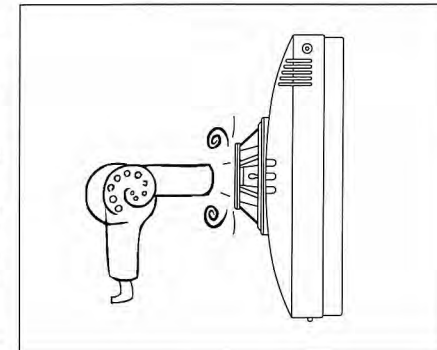
⑵点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端を炎の高さの真ん中の位置へ持っていきます。

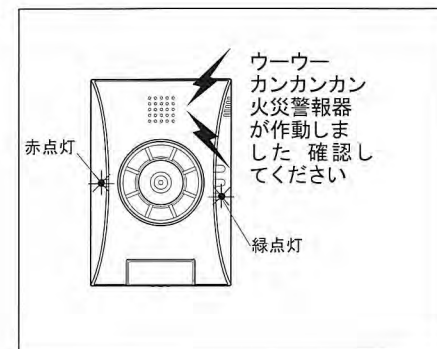
⑶容器の圧縮をゆっくり(約３秒程度)緩め、炎の中からガス成分を吸引します。
(長時間加熱しますと、ガス採取器が破損する場合があります。)
点検ガスの採取が終わりましたら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスコンロの炎を消してください。

⑷採取管の先端部分の温度が下がるまで（約25秒程度）待ちます。

⑸採取管の先端部分を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり（約3秒程度）注入します。
⑹ガスを注入してから約20〜40秒後にガス濃度が低ければ黄ランプが点滅します。（低濃度の注意報）
ガス濃度が高ければ黄ランプが点灯し、警報音（「ウーウーピッポッピッポッ　空気がよごれて危険です　窓を開けて換気してください」）が鳴ります。（高濃度の警報）
※黄ランプ点滅状態のまま、約５分経過した場合にも警報音が鳴ります。

⚠ 注意	炎から出した直後の採取管の先端は非常に熱くなっています。やけどをしないよう、ご注意ください。

5．ガスがなくなると、黄ランプが消灯します。

〈不完全燃焼ガス検知タイミング〉

※不完全燃焼ガスの検知は約20秒毎になっています。
ガス注入のタイミングがずれたり、あるいは注入したガスがうすまった場合、高濃度警報にいたらないことがあります。
※連続して長時間不完全燃焼ガスを注入しますと、警報音がなかなか鳴りやまない場合があります。

○火災警報点検の方法（火災警報器の点検は警報音声確認ボタンでも可能です。）
※設置時のガスセンサ（都市ガス・CO）の点検は警報音声確認ボタンでは行えません。

6．ヘアドライヤーを用意します。必要に応じ延長コードも用意してください。
⑴ヘアドライヤーを火災検知部に垂直に当てます。
⑵ドライヤーの電源スイッチをＯＮし、熱風を吹きかけます。
赤ランプが点灯し（緑ランプは点灯）警報音（「ウーウーカンカンカン　火災警報器が作動しました　確認してください」）が鳴ります。
※切替スイッチにより、ブザー設定にした場合（ウーウーカンカンカン）のみの警報が鳴ります。

7．火災検知部周囲の温度が下がると赤ランプが消灯します。

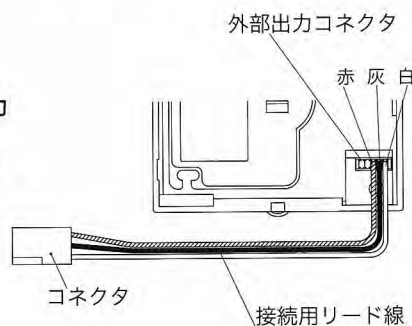
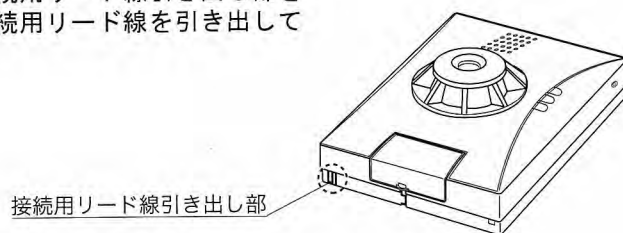
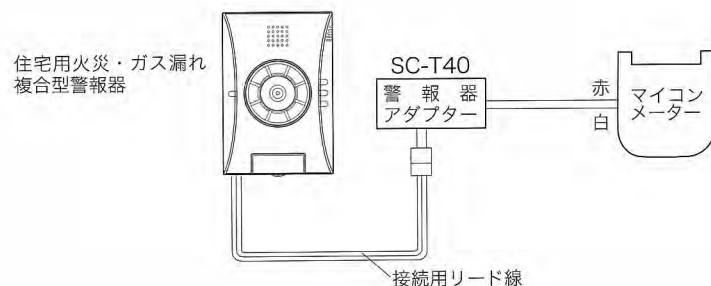
⚠注意

ドライヤーを離した直後、警報器は熱くなっています。
やけどをしないようご注意ください。

ライター等の直火で加熱試験は、行わないでください。
機器破損の原因となります。

 禁止

■外部装置と接続する場合の注意点及び点検方法

●外部装置と接続する場合は、外部装置の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。
●ガスもれ、不完全燃焼警報出力は有電圧出力ですので、外部装置と接続する場合は極性に注意してください。
●火災警報出力は火災相互連動専用です。

●マイコンメーターとの連動方法
①接続用リード線を警報器裏面にある外部出力コネクタに接続してください。
・ガスもれ、不完全燃焼警報出力線：白・灰線
・火災警報出力線：赤・灰線
②警報器アダプターにコネクタを接続します。

③コード収納カバーの接続用リード線引き出し部を切り取り、そこから接続用リード線を引き出してください。

④コード収納カバーは本体に確実に取付けてください。

■お客さまへのご説明内容

1．警報動作及び点検結果の説明。
2．取扱説明書を必ず読んでいただくことと、保証書・取扱説明書の保管のお願い。
3．取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
(1)火災警報の内容（赤ランプ点灯、音声合成音の確認）と警報時のとるべき措置の説明。
(2)ガスもれ警報の内容（赤ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認）と警報時のとるべき措置の説明。
(3)火災、不完全燃焼の同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
(4)不完全燃焼警報の内容（黄ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認）と警報時のとるべき措置の説明。
(5)ガスもれ、不完全燃焼の同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
(6)火災、ガスもれ、不完全燃焼の同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
(7)部屋にいない場合に警報が鳴ったときのとるべき措置について。（ガスもれ、不完全燃焼警報時）
(8)予備コンセントの容量上限値について。
(9)誤報が発生する場合。
(10)警報音声確認ボタンの説明
・機器故障音声機能
・有効期限切れ音声機能

■お客さまへの周知事項

お　願　い

●お客さまに次の事項をご説明のうえ、ご理解を得てください。
1．保証期間５年。
2．警報器の有効期限を知らせる。（本体に表示）
3．保証書を必ず読んで内容を理解した上で取扱うこと。　　❗ 必ず行う
4．警報器の移設禁止。（移設依頼の連絡先）
5．警報器の分解禁止。
6．引越時の措置。